森林講座瓦版

気候変動と森の病気

昨今の気候変動に伴い、病虫害による樹木の枯死被害が激化しています。その一例として、キクイムシによる樹木の枯死被害があげられます。日本ではカシノナガキクイムシと随伴菌によるナラ類の集団枯死、蔵王で発生したトドマツノキクイムシによるアオモリトドマツ集団枯損が起こりましたが、これらは気候変動によってキクイムシの発生頻度が変化したことで、被害が激化したものと考えられます。

土壌病原菌の分布も気候変動によって変化しています。樹木疫病菌ファイトフトラ・シナモミは、さまざまな樹木に根腐れを引き起こす世界的にも警戒が必要な植物病原菌で、過去に沖縄で確認されて以降、本州でも分布報告がありましたが、最近では山形でも確認されるようになりました。本菌は土壌凍結がある場所では越冬が難しいと考えられ、暖冬化が進むことで分布が北上していると考えられます。今後さらなる被害の北上、拡大が懸念されます。

近年、気候変動で台風被害が激化していますが、それに伴い腐朽病害による倒木や折損が目立ってきています。チャアナタケモドキはスギや梨に被害を引き起こす腐朽菌ですが、被害が多い場所では折損被害につながります。国内の分布予測ではチャアナタケモドキは関東周辺に集中していますが、その分布は気温によって影響を受けており、今後、気候変動によってチャアナタケモドキの分布が北へと広がる可能性があります。

その他さまざまな病虫害が顕在化しつつあると予想され、それらの実態調査と対応策が求められています。

（２０２４年８月22日開催講座より）

升屋 勇人 *Masuya Hayato*
きのこ・森林微生物研究領域

倒木など腐朽病害を引き起こすチャアナタケモドキは気温上昇で分布域が拡大する可能性がある。

令和７年度 森林講座のお知らせ

7月11日（金曜日）
「ボルネオの森のキノコと昆虫」
山下 聡（生物多様性・気候変動研究拠点）

8月20日（水曜日）
「シカは減っているのか？
効率的な個体数管理のためのメスジカの捕獲」
鈴木 圭（九州支所）

9月19日（金曜日）
「野と林の近現代史」
八巻 一成（関西支所）

10月24日（金曜日）
「木の香りを活かして、
生活を少し豊かに」
森川 卓哉（森林資源化学研究領域）

11月21日（金曜日）
「雪と森林」
勝島 隆史（森林防災研究領域（十日町試験地））

12月19日（金曜日）
「固有種の宝庫、小笠原諸島の
林木遺伝資源保全に向けた取組」
玉城 聡（林木育種センター遺伝資源部）

1月22日（木曜日）
「日本へとつながるアジア大陸の人類移動
氷河期の森林拡大が要因だった」
志知 幸治（四国支所）

2月5日（木曜日）
「赤トンボの知られざる旅
－生息地のつながりを理解しよう－」
東川 航（九州支所）

森林・林業や木材への関心や理解を深めていただこうと、一般の方々を対象にした「森林講座」を**多摩森林科学園森の科学館**で新年度も開きます。**受講無料**。

◆受講申込み

メールまたは往復はがきで、講座名と受講人数（最多3人まで）、受講者（複数人の場合は代表者）の郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記して下記の申込先にお送りください。講座開催日の前月1日から受け付け、先着順で**定員30名**に達し次第、または開催2日前に締め切ります。詳しくは下記「森林講座（2025年度）」ページをご覧ください。

◆講座会場・申込先・問合せ先

多摩森林科学園
メール：shinrinkouza@ffpri.affrc.go.jp
〒193-0843
東京都八王子市廿里町1833-81
お問合せ電話：042-661-1121

◆「森林講座（2025年度）」ページ